

4. 専門看護師育成のための履修モデル

実践看護学分野		専門看護師コース（がん看護学）							
<p>＜履修科目＞</p> <p>共通科目では、専門看護師教育課程の必修科目である「フィジカルアセスメント」「臨床看護病態生理学」「臨床看護薬理学」の3科目(6単位)に加え、専門看護師の6つの役割(実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究)を果たすための基盤となる「看護教育学」「看護研究Ⅰ(概論)」「生命倫理」「看護倫理」「コンサルテーション」の5科目(8単位)を選択する。</p> <p>専門科目では、がん看護専攻教育課程の共通科目として「がん看護学特論Ⅰ(腫瘍病態学)」「がん看護学特論Ⅱ(がん看護理論)」「がん看護学特論Ⅲ(がん看護援助論)」の3科目(6単位)、専門科目として、「がん看護学特論Ⅳ(がん薬物療法看護)」「がん看護学特論Ⅴ(がん薬物療法看護方法論)」「がん看護学特論Ⅵ(緩和ケア)」「がん看護学特論Ⅵ(緩和ケア演習)」の4科目(8単位)、実習科目として「がん看護学実習Ⅰ(診断と治療)」「がん看護学実習Ⅱ(高度実践・役割)」「がん看護学実習Ⅲ(緩和ケア)」「がん看護学実習Ⅳ(在宅緩和ケア)」の4科目(10単位)を履修する。</p> <p>加えて、共通科目や専門科目の学修を統合し、自己の研究課題を追求して実践に寄与することを目的として「課題研究」(2単位)に取り組む。</p>									
科目区分	研究分野	授業科目	単位			授業を行う年次と単位区分			
			必修	選択	自由	1年次		2年次	
						前期	後期	前期	後期
共通科目		看護教育学		2		2			
		看護研究Ⅰ(概論)		2		2			
		生命倫理		1		1			
		看護倫理		1		1			
		コンサルテーション論		2			2		
		フィジカルアセスメント	2			2			
		臨床看護病態生理学	2			2			
	臨床看護薬理学	2			2				
専門科目	実践看護学	がん看護学特論Ⅰ(腫瘍病態学)	2			2			
		がん看護学特論Ⅱ(がん看護理論)	2			2			
		がん看護学特論Ⅲ(がん看護援助論)	2			2			
		がん看護学特論Ⅳ(がん薬物療法看護)	2				2		
		がん看護学特論Ⅴ(がん薬物療法看護方法論)	2				2		
		がん看護学特論Ⅵ(緩和ケア)	2				2		
		がん看護学特論Ⅵ(緩和ケア演習)	2				2		
		がん看護学実習Ⅰ(診断と治療)	2				2		
		がん看護学実習Ⅱ(高度実践・役割)	4					4	
		がん看護学実習Ⅲ(緩和ケア)	3					3	
		がん看護学実習Ⅳ(在宅緩和ケア)	1				1		
研究科目		課題研究	2					2	
小計			32	8		18	12	10	
合計			40						
修了後の進路	医療機関において、がん看護専門看護師として、がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL(生活の質)の視点に立った水準の高い看護を提供することが期待できる。								

